

JASS 18 M-307規格適合品(WPステイン)  
木材保護塗料

水性ニューボンデン

Suisei New Bonden



人・環境にやさしい

This paint is friendly to the living and working environment  
because it does not contain toluene-xylene, etc. It can be  
used for repainting over darkened areas.

Quality  
01

高撥水  
高耐候  
UVカット

Quality  
02

高着色  
隠蔽性

Quality  
03

防腐・防虫  
防蟻(シロアリ)  
防藻・防カビ

# 水性ニューボンデン Suisei New Bonden

環境対応型塗料

JASS18 M-307 規格適合品 (WPステイン)

色数・塗り面積・用途

容量	色数	塗り面積	乾燥時間	うすめ液
0.9kg、3.5kg、14kg	全18色、#101 レジューサー	10～12㎡/Kg(1回塗り)	4時間以上(23℃)	#101 レジューサー、水 (水で薄める場合は10%を上限)

## ■ カラーバリエーション

#102 メープル	#103 チーク	#105 チェスナット	#107 マホガニ	#108 ブラウン	#110 オリーブ	#120 白木
#111 ウォルナット	#112 ブラック	#113 ホワイト	#115 スプルース	#116 エロー	#117 レッド	#101 レジューサー
#130 スモーキーピンク	#131 ブルーグレー	#132 グレージュ	#133 カフェモカ	#134 キャラメル		

## ■ 用 途

### 屋内外木部

ログハウス、ラティス、ガーデンファニチャーなどのガーデニング材の木部、  
窓枠、戸袋、羽目板、門扉、木戸、下見板、軒天井、板堀などの屋外木部

※薬剤成分を含んでおりますので頻繁に肌に触れる箇所には使用しないでください。

※床、デッキ等には摩耗により塗膜の劣化が早くなる場合があります。

## 水性ニューボンデンでエイジング塗装

エイジング塗装とは、塗装により経年変化を表現しアンティーク風に仕上げる工法です。  
店舗やテーマパークなどで使用されることが多いですが、近年は一般住宅においても  
人気があります。使う木材の種類や状態で仕上がりが変わるのもエイジング塗装の  
特長です。

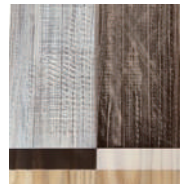
塗装方法の動画はこちらから▶



焼き杉 ▼



通常の杉材にエイジング加工 ▼



特 長

### 01.

#### 人・環境に優しい

トルエン・キシレンなどを  
含んでいないため、生活環  
境、作業環境にやさしい塗  
料です。

### 02.

#### 塗り替えに最適

灰色化(暗色化)した状態  
の上からの塗り替えにも対  
応できます。

### 03.

#### 抜群の耐候性

塗膜は柔軟性に富み、木材  
の伸び縮みに順応できるた  
め、長期にわたり屋外暴露  
されても塗膜のワレ・ハガ  
レをほとんど生じません。

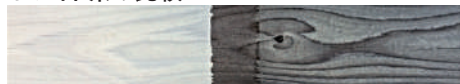
### 04.

#### 自由な色に仕上げ可能

各色を混合し、自由な色に  
調色可能です。  
#101 レジューサーで濃淡  
を調整することもできます。

## 灰色化した木材への 隠ぺい力(トマリ)比較

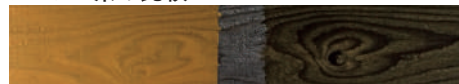
### ホワイト系の比較



水性ニューボンデン  
#113ホワイト(1回塗り)

他社油性木材保護塗料  
ホワイト(2回塗り)

### メープル系の比較



水性ニューボンデン  
#102メープル(1回塗り)

他社油性木材保護塗料  
メープル(2回塗り)

## 評価項目: 初期防蟻性能 (JIS K1571 2010)

No.	試験体	平均質量減少率 (%)	平均死中率 (%)
1	無塗装	35.6	11
2	水性ニューボンデン	1.7	85
3	他社水性木材保護塗料	13.6	18
4	他社油性木材保護塗料	5.1	33

## 1. 初期防蟻性能評価

評価方法: JISK1571に準拠して実施した。なお、1試験区は3反復で行った。室内防蟻試験は、薬剤無処理の質量減少率が20%以上であるときに試験が成立し、薬剤(塗料)処理区の質量減少率が3%未満であるとき、防蟻性能があるとする。

ヤマトシロアリ  
職蟻(ショクギ)ヤマトシロアリ  
兵蟻(ヘイギ)イエシロアリ  
職蟻(ショクギ)イエシロアリ  
兵蟻(ヘイギ)

無処理

水性  
ニューボンデン他社  
水性木材保護塗料他社  
油性木材保護塗料

## 評価項目: 初期防藻性能(弊社独自試験)

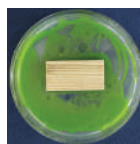
No.	試験体	培養日数	
		7日	28日
—	無塗装	2	2
1	水性ニューボンデン	0	0
2	他社水性木材保護塗料	1	2
3	他社油性木材保護塗料	0	2

## 【判断基準】

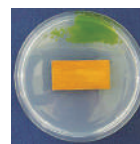
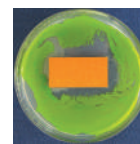
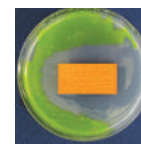
- 0…試験片の接種した部分に藻の発育が認められない。  
 1…試験片の接種した部分に藻の発育が認めらる  
 藻の発育部分の面積は、シャーレ面積の1/3を超えない。  
 2…試験片の接種した部分に藻の発育が認めらる  
 藻の発育部分の面積は、シャーレ面積の1/3を超える。



試験体



無処理

水性  
ニューボンデン他社  
水性木材保護塗料他社  
油性木材保護塗料

## 評価項目: 防虫効力試験

(公益社団法人 日本木材保存協会規格JWPAS-IW(2011)  
 木材防虫剤の性能規準及び試験方法を参考)

No.	試験体	孔数	抑制率 (%)
1	無塗装	5	—
2	水性ニューボンデン	0	100
3	他社油性木材保護塗料	0	100

## 1. 防虫効力性能評価

評価方法: 供試木材に各供試塗料を規定数処理し、乾燥させた。ろ紙を敷いたプラスチック容器に塗料を塗布し供試木材を置き、そこにヒラタキクイムシ成虫20頭を供試し、約3ヶ月静置させた。静置後、供試木材を外側から観察し、脱出孔数、脱出成虫数をカウントした。反復は2回とし、その平均値を求めた。また、塗料を塗布しない供試木材をブランクとして同時に試験を供した。なお、今回の試験では、3ヶ月後でもブランクから成虫の羽化が認められなかったため、そのまま試験を継続し、ブランクから成虫の発生が認められた7ヶ月後に観察を実施した。



ヒラタキクイムシ



表面図



断面図



無処理



水性ニューボンデン



他社油性木材保護塗料



Quality  
防カビ  
- antifungal mold -

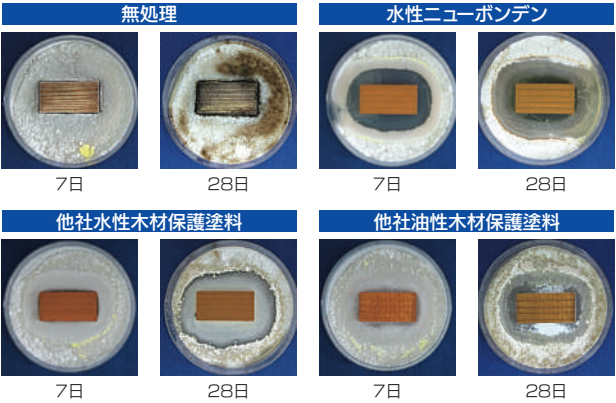
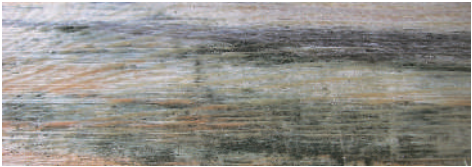
評価項目:初期防カビ性能(JIS Z2911 2018)

No.	試験体	培養日数		
		7日	14日	28日
1	無塗装	2	2	2
2	水性ニューボンデン	0	0	0
3	他社水性木材保護塗料	0	0	1
4	他社油性木材保護塗料	0	0	1

1.初期防カビ性能評価

評価方法:

菌系の発育	評価値
試験体にカビの発生が全く認められない	0
試験体の上面の面積の1/3以下にカビの発育が認める	1
試験体の上面の面積の1/3以上にカビの発育が認める	2



評価項目:初期防腐性能(JIS K1571 2010)

No.	塗料	カワラタケ	オオウズラタケ
		質量減少率(%)	
		平均	平均
1	無塗装	16.4	7.0
2	水性ニューボンデン	9.9	3.7
3	他社水性木材保護塗料	17.5	10.2

1.初期防藻性能評価

評価方法:JISK1571に準拠して実施した。

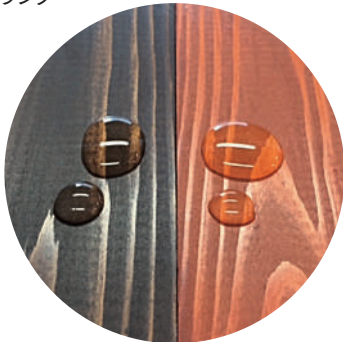
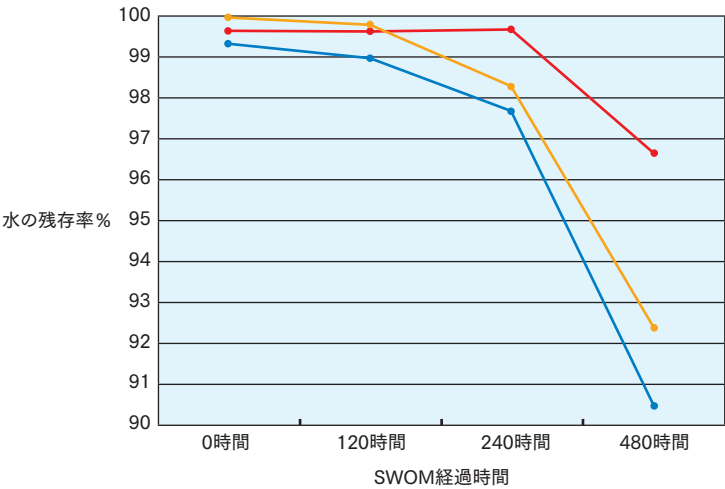
室内防腐試験は、薬剤無処理のカワラタケの質量減少率が15%以上、オオウズラタケの質量減少率が30%以上であるとき試験が成立し、薬剤(塗料)処理区の質量減少率がいずれの菌でも3%未満であるとき、防腐性能があるとする。



腐朽菌(白)とカビ(緑)

Quality  
防腐  
- preservative -

Quality  
撥水  
- water repellent -



# = Actual Photo =



#102 メープル  
保育園



#103 チーク  
寺院



#105 チェスナット  
戸建て住宅



#107 マホガニ  
民宿



#108 ブラウン  
フェニックス・シーガイア・  
リゾート松泉宮



#110 オリーブ  
寺院



#111 ウォルナット  
えびのエコミュージアムセンター



#112 ブラック  
松山城太鼓櫓



#115 スプルース  
宿泊施設



#116 エロー  
ログハウス



#117 レッド  
和ダイニング



#120 白木  
寺院



#113 ホワイト  
ラティス



#130 スモーキーピンク  
ラティス



#131 ブルーグレー  
庭木戸



#132 グレージュ  
板塀



#133 カフェモカ  
ガーデニング用品



#134 キャラメル  
ガーデニング用品



## 標準塗装工程

### I. 新規に塗装する場合(新設)

工 程	塗料、その他	塗布量 g/m <sup>2</sup>	乾燥時間(23℃)	摘 要
1	素地調整	研磨紙#180~240、塗面清掃	—	—
2	乾燥	木材の含水率は15%以下	—	規定の含水率になるまで乾燥させる
3	着色	水性ニューボンデン各色	80~100	12時間以上

※木材の吸い込みが多い場合は2回塗りしてください。

※水性ニューボンデンは乾燥後数日で撥水効果が現れますので、その後の上塗りには「ハジキ現象」が起きる事があります。

※吸い込みの少ない材、塗布量の過多、塗装環境によってはタック感（ベタつき）が残る可能性があります。

※工場塗装などで塗装材同士を積み重ねて保管される場合、塗装材の加重によっては塗膜同士の付着が発生する恐れがあります。

色が移る心配はありませんが、塗装材を重ねて保管される際は塗膜の間に離型紙を使用することを推奨します。

### II. 塗り替えに塗装する場合(改修)

工 程	塗料、その他	塗布量 g/m <sup>2</sup>	乾燥時間(23℃)	摘 要
1	素地調整	研磨紙#180~240、塗面清掃	—	—
2	乾燥	木材の含水率は15%以下	—	規定の含水率になるまで乾燥させる
3	着色Ⅰ	水性ニューボンデン各色	80~100	4時間以上
4	ケバ取り	研磨紙#320~400	—	—
5	着色Ⅱ	水性ニューボンデン各色	80~100	12時間以上

※木材の劣化が少なく吸い込みが少ない場合は1回塗り仕上げでも可能です。

※水性ニューボンデンは乾燥後数日で撥水効果が現れますので、その後の上塗りには「ハジキ現象」が起きる事があります。

※吸い込みの少ない材、塗布量の過多、塗装環境によってはタック感（ベタつき）が残る可能性があります。

※工場塗装などで塗装材同士を積み重ねて保管される場合、塗装材の加重によっては塗膜同士の付着が発生する恐れがあります。

色が移る心配はありませんが、塗装材を重ねて保管される際は塗膜の間に離型紙を使用することを推奨します。

## 使用方法

- 使用する前にフタをしたまま容器を逆さにした状態でよく振り、十分攪拌してください。
- 原則として原液でご使用ください。  
水性ニューボンデンを水で薄めると薬剤効果が低下します。色を薄めたい場合は水性ニューボンデンレジューサーを使用してください。
- 水性ニューボンデンレジューサー単独での外部への使用は着色仕上げに比べ耐候性が落ちるため避けてください。
- 木材の種類や吸い込みによって仕上がり色が異なりますので、あらかじめ試し塗りをして確認してください。
- マツ、杉などの吸い込みムラや塗りつきムラが出やすい針葉樹や材質の柔らかい木材に塗装する場合は、水性ニューボンデンレジューサーを下塗りしてから有色を上塗りしてください。
- 塗装面のゴミ、油分、カビ、ワックス等は必ず取り除いてから塗装してください。
- 旧塗膜への重ね塗りは十分に研磨を行ってから塗装してください。
- 工程表に記載された塗布量や乾燥時間は目安です。素材の状態、気温、湿度によって変化します。
- 気温5℃以下、湿度の高いとき（85%以上）、木材の含水率が高いときには塗装しないでください。
- 低温時、多湿時は乾燥が遅くなりますので、ご注意ください。
- 使い終えた刷毛や用具は、水で洗ってください。

#### 保管と廃棄

- 子供の手の届かない所に保管し、誤飲、誤食をしないようにしてください。
- 残塗料、廃液は下水・河川等に捨てず、中身を使いきってから捨ててください。
- やむを得ず塗料を捨てるときは、新聞紙に塗り広げ、乾いてから一般ゴミとして捨ててください。

## 取扱い上の注意

- スプレーによる吹付けはしないでください。
- 取扱い中は塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護メガネ等を着用してください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- カビの発生、退色につきましては素材の影響もあり、保証する限りではありません。
- 食器棚、玩具、動物小屋、温室等の木材には使用しないでください。
- 屋内で頻繁に肌に触れる箇所には使用しないでください。
- 表示の用途以外には使用しないでください。
- 使用前も、使用中もよくかき混ぜて中身を均一にして使用してください。
- 塗装作業後は、直ちにハケや容器を水で洗浄してください。

#### 応急処置

- 目に入った場合は、多量の水で十分に洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、せっけん水で洗い、痛みや皮膚に変化があるときには医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出そうとせずにできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合は、作業を中止し空気の清浄な場所で安静にしてください。

※詳しくは、SDS（安全データシート）をご覧ください。



大阪塗料工業株式会社



本 社 〒536-0001 大阪市城東区古市3丁目4番20号  
TEL 06 (6934) 3271 (代表) FAX 06 (6934) 3250

福井工場 福井県坂井市三国町米納津テクノポート2-3-4  
TEL 0776 (81) 6101 FAX 0776 (81) 6106

http://www.osaka-toryo.com/ E-mail: info@osaka-toryo.com

代理店